

千葉市の歯科保健対策の現状(健診等の実績)

資料1-1

ライフステージ	口腔内の特徴と問題点	事業名	事業実績			目的・取組み	担当課	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度上半期			
妊産婦・胎児期	○妊娠により口腔内の状況が変化し、むし歯や歯周病が増加する時期。 ○胎児の歯の形成期バランス良く栄養摂取することが必要。	母親&父親学級	54回 1,166人	53回 1,305人	28回 737人	・妊娠中や乳児期の口腔ケアに対する意識の向上と胎児の歯の形成期における栄養摂取の啓発。 ・歯科疾患の予防・早期発見及び養育者感染の予防。 ・かかりつけ歯科医の推奨。 ・妊婦歯科健診で未処置歯5本以上の者を対象に、個別相談と受診勧奨を行う。	健康支援課	
		妊婦歯科健診	受診率 32.0% 2,566人/8,025人	受診率 32.1% 2,551人/7,942人	1,132人			
		産婦歯科健診	受診率 26.1% 1,951人/7,462人	受診率 24.8% 1,858人/7,481人	872人			
		妊婦重度う蝕個別相談(4か月児健診時)	229人	242人	148人			
乳幼児期	○発達状態に応じて歯・口腔機能が獲得される。 ○乳歯萌出に伴い、むし歯が増加する。特に乳歯列完成後、むし歯が急増する。 ●6か月頃～乳前歯萌出期 ●1歳6か月頃～乳臼歯萌出期 ●2歳頃～乳歯列完成期	4か月児健康診査	受診率 96.5% 7,453人/7,726人	受診率 96.4% 7,418人/7,695人	受診率 97.2% 3,674人/3,780人	・乳児期からの口腔ケアの実施方法、間食・甘味飲料摂取の注意、養育者感染の予防、口腔機能の発達等に関する知識の普及啓発。 ・歯・口腔の疾病予防方法や不安の解消などを目的に個別相談を行う。 ・むし歯や不正咬合等の歯科疾患の早期発見と予防。 ・口腔ケアの実施方法、間食・甘味飲料摂取の注意、口腔機能の発達等に関する保健指導 ・かかりつけ歯科医での定期健診・フッ化物応用の推奨。 ・フッ化物取扱い歯科医院やフッ化物配合歯みがき剤等の情報提供。 ・むし歯リスクの高い2歳児(1歳6か月児歯科健診でO2[むし歯の誘因が多い]と判定された児等)を対象に、重点的な保健指導を実施し、むし歯を予防する。 ・むし歯や不正咬合等の歯科疾患の早期発見と予防。 ・口腔ケアの実施方法、間食・甘味飲料摂取の注意、口腔機能の発達等に関する保健指導 ・かかりつけ歯科医での定期健診、フッ化物応用の推奨。 ・フッ化物取扱い歯科医院やフッ化物配合歯みがき剤等の情報提供。 ・保育施設職員の口腔保健に対する意識の向上を図り、幼児の歯みがきの習慣化を図る。 ・フッ化物応用等によるむし歯予防や口腔機能の発達等に関する知識の普及啓発。 ・第一大臼歯のむし歯予防を中心とした歯みがき指導。 ・むし歯予防の取組みのひとつとして、関係機関と連携し、集団フッ化物洗口の導入や実施に関わる支援を行う。 ・むし歯予防の取組みのひとつとして、関係機関と連携し、集団フッ化物洗口の導入や実施に関わる支援を行う。 【目的】乳幼児のむし歯は年々減少傾向にあるが、他の疾患に比べその罹患率はいまだに高く、しかも自然治癒がないため予防について正しい知識の普及と指導の徹底を図ることが乳幼児の健やかな発育成長の為に重要である。そのため歯科健診を行い入所児童に対する歯科保健の充実を図る。 【取組み】 ・各保育所にて看護師や保育士等による刷掃指導を実施。 ・「保健だより」等、おたよりによる保護者への歯磨きの大切さ等、知識の普及啓発。 ・H26年度に作成したリーフレットの配布と活用(H27年度)	健康課	
		乳幼児歯科相談	200回 3,049人	222回 3,787人	119回 1,726人			
		1歳6か月児歯科健康診査	受診率 95.3% 7,724人/8,104人	受診率 95.4% 7,328人/7,682人	受診率 96.6% 3,917人/4,056人			
		う蝕有病者率	2.3%	2.6%	1.9%			
		う蝕有病者の1人平均う蝕数	2.84本	2.79本	3.28本			
		健診受診者の1人平均う蝕数	0.06本	0.08本	0.06本			
		仕上げ歯磨きされていない割合	8.1%	7.2%	6.7%			
		2歳児むし歯予防教室	定例	参加率 39.5% 209回 1,331人/3,365人	参加率 35.7% 206回 1,194人/3,349人			参加率 34.1% 104回 569人/1,667人
			イベント	参加率 39.2% 30回 186人/ 475人	参加率 39.4% 29回 193人/ 490人			参加率 42.5% 15回 96人/ 226人
		3歳児歯科健康診査	受診率 93.2% 7,743人/8,305人	受診率 93.7% 7,518人/8,023人	受診率 94.8% 3,659人/3,861人			
			う蝕有病者率	18.1%	16.9%			16.8%
			う蝕有病者の1人平均う蝕数	3.53本	3.38本			3.21本
			健診受診者の1人平均う蝕数	0.64本	0.57本			0.54本
		フッ化物歯面塗布を受けたことのある割合	41.0%	40.9%	38.8%			
		○永久歯萌出開始に伴い、永久歯むし歯が増加する。	乳幼児口腔保健指導事業					
中央講習会	1回 96人		1回 115人	1回 86人				
地域歯科保健連絡会	6回 86人		6回 96人	—				
●4~5歳頃 永久歯萌出開始時期(第一大臼歯・前歯)	刷掃指導	35回 1,318人	39回 1,692人	24回 1,269人				
	幼稚園フッ化物洗口保護者等説明	3回 298人	10回 558人	—				
	公立認定こども園	保護者等説明	—	—	4回 84人			
		フッ化物洗口	—	—	2園 50人			
	公立保育所 歯科健診(59か所) (有:有病者率) (受:受診率)	2歳	有: 7.9% 受: 98.8% 1,515人/1,533人	有: 5.8% 受: 99.0% 1,563人/1,579人	—			
3歳		有: 20.3% 受: 98.9% 1,526人/1,543人	有: 18.0% 受: 98.6% 1,412人/1,432人	—				
4歳		有: 32.2% 受: 99.3% 1,485人/1,496人	有: 27.9% 受: 98.9% 1,489人/1,505人	—				
5歳		有: 38.5% 受: 98.5% 1,516人/1,539人	有: 39.4% 受: 98.6% 1,517人/1,538人	—				
健康支援課								

ライフステージ	口腔内の特徴と問題点	事業名	事業実績			目的・取組み	担当課
			平成26年度	平成27年度	平成28年度上半期		
学 齢 期	<p>○乳歯と永久歯の交換期であり、成長に合わせた良好な歯・口腔機能の獲得が必要。</p> <p>●6～11歳頃 乳歯・永久歯交換期。永久歯むし歯が多発。</p> <p>●12～14歳頃 永久歯列完成期。歯肉の炎症が始まる。</p> <p>●15歳頃～ 第3大臼歯萌出期。むし歯が放置されやすく、歯周病の発生が始まる。</p>	定期健康診断 *特別支援学校を含む	小学校 114校 50,070人 中学校 57校 23,772人	小学校 113校 49,196人 中学校 56校 23,510人	小学校 113校 48,691人 中学校 56校 23,705人	<p>・子どもが健康診断を通して、自分の歯や口腔の健康状態を具体的に知り、健康の保持増進に対する意欲を一層高めることをねらいとし、学校歯科医師により行う。</p> <p>・心身ともに成長・発育しているステージにある児童生徒に対し、口腔衛生の重要性を理解させることにより、歯みがきの習慣化を図り、むし歯及び歯周病の予防に取り組めるよう歯科保健指導を実施する。</p> <p>・歯と口の健康に関する正しい知識を普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣を図り、併せてその早期治療等を徹底することで、歯の寿命を延ばし、全身の健康づくりを行えるよう支援する。</p> <p>・児童生徒に対し、生涯を通じての自立的口腔保健行動の形成をめざして、歯科医師による保健指導を行う。</p> <p>・むし歯予防の効果、学校現場における取組方法等を検証するために行う。</p> <p>・タバコに興味を持ち始める時期に、口腔内及び全身の疾患を歯科医師の視点から紹介することで、将来、喫煙をしないという選択ができるように保健教育を行う。</p>	保健 体育 課
		12歳児の永久歯のむし歯の1人平均本数	0.74本	0.63本	0.67本		
		歯ぐきに異常がある12歳児の割合	29.2%	30.2%	30.7%		
		口腔衛生指導 *特別支援学校を含む	小学校 8,652人 中学校 7,411人	小学校 8,188人 中学校 7,456人	小学校 人 中学校 人		
		学校歯科保健推進事業					
		健歯児童・生徒表彰	健歯 小学6年生 1,522人 中学3年生 1,037人	健歯 小学6年生 1,481人 中学3年生 1,048人	健歯 小学6年生 1,434人 中学3年生 1,168人		
		学校歯科保健活動推進校表彰	小学校 1校 中学校 1校	小学校 1校 中学校 1校	小学校 1校 中学校 1校		
		歯・口の健康に関する図画 ポスター、健康啓発標語の募集	図画・ポスター 54点 標語 206点	図画・ポスター 65点 標語 156点	図画・ポスター 63点 標語 181点		
		学校歯科保健優良校表彰	小学校 4校 中学校 1校	小学校 4校 中学校 0校	小学校 4校 中学校 1校		
		歯と口の健康づくり啓発事業	3中 学区 小学校 6校 1,270人 中学校 3校 725人	2中 学区 小学校 3校 1,983人 中学校 2校 916人	3中 学区 小学校 4校 1,715人 中学校 3校 773人		
むし歯予防フッ化物洗口 事業(モデル事業)		小学校 3校 746人 中学校 0校 0人	小学校 4校 912人 中学校 0校 0人				
歯医者さんの喫煙防止 教室(学校保健会事業)	中学校 5校 1,132人	中学校 5校 1,519人	中学校 4校 人				
成 人 期	<p>○歯周病の急増と歯の喪失に伴い、咀嚼機能が低下する。</p> <p>●40歳頃～ 歯の喪失開始時期</p>	成人歯科相談 (再掲:区民まつり等での相談)	262回 3,188人 (4回 1,459人)	218回 3,323人 (8回 2,040人)	113回 3,016人 (2回 2,276人)	<p>・歯周病の早期発見・早期治療により、歯の喪失を予防する。</p> <p>・歯周病と全身疾患の関連性、歯周病予防等の正しい知識や技術の普及啓発。</p> <p>・歯間ブラシやデンタルフロス等歯間部清掃用具の使用推奨。</p> <p>・かかりつけ歯科医での定期健診の推奨。</p> <p>・口腔がんの早期発見・早期治療と市民の意識の高揚を図る。</p>	健康 健康 支援 課
		健康教育・講演会	88回 1,678人	111回 2,080人	58回 811人		
		歯周病検診	受診率 5.7% 2,972人/52,387人	9.3% 4,491人/48,460人	—		
		口腔がん検診	676人	656人	—		
		歯と口の健康づくり教室	93回 479人	120回 1,703人	56回 813人		
高 齢 期	<p>○歯の喪失急増期。咀嚼機能等の口腔機能低下。</p> <p>○全身状態の低下。</p>	歯科医師講演会	18回 421人	18回 467人	9回 233人	<p>・口腔ケア・口腔体操について、知識を深め実践できるよう支援を行う。</p> <p>・歯科疾患・口腔機能と全身疾患の関連性及びその予防に関する知識の普及啓発。</p> <p>・かかりつけ歯科医での定期健診の推奨。</p> <p>・介護予防に効果のあるいきいき体操を、仲間と継続して実践できるよう支援を行う。</p> <p>・歯や口腔機能状態の把握・評価と保健指導を行い、機能改善につなげる。</p> <p>・口腔機能の低下や肺炎等の疾病の予防を目的に、健診を行う。 ※ 千葉県後期高齢者広域連合会が実施主体</p>	健康 健康 支援 課
		健康づくり教室	238回 2,361人	206回 3,509人	61回 1,342人		
		健康づくり相談	84回 215人	90回 263人	49回 171人		
		いきいき体操	—	(体験) (指導等) 67回 884人	23回 416人 73回 853人		
		口腔ケア事業	622人	217人	—		
		歯科口腔健康診査 (76歳)	—	—	新規開始 人		
		訪問歯科診療事業 (ねたきり40歳以上)	実 31人	実 26人	実 32人		
心 身 障 害 者 児 等	<p>○歯の形成不全及び唇顎口蓋裂等。</p> <p>○広範性のむし歯発生等による咀嚼・発音障害。</p>	ねたきり老人・心身障害者(児)歯科診療事業	ねたきり老人 実 44人 延 204人	実 45人 延 242人	実 37人 延 113人	<p>・一般の歯科診療所での治療が困難な「ねたきり老人」「心身障害者(児)」に、歯科医療サービスを提供し、健康の保持増進を図る。 ※ 千葉市保健医療事業団に委託</p>	健康 企画 課
		心身障害者(児)	実 107人 延 438人	実 101人 延 430人	実 78人 延 191人		
		ヘルシーカムカム	2,779人	2,609人	1,905人		
ス テ ー ジ	—	歯みがき&デンタルカップ ミニサッカー大会	約3,500人 (フッ化物洗口体験) 人	約3,500人 142人	約3,500人 178人	<p>・イベント等の実施により、歯科保健知識の普及啓発を行う。</p> <p>・むし歯予防のひとつであるフッ化物洗口の普及啓発のため、フッ化物洗口体験を実施。</p> <p>・国民健康・栄養調査と併せ、5年毎に行われる全国歯科調査。</p>	健康 健康 支援 課
		区民まつり等	1,459人	2,040人	2,276人		
		市民健康づくり大会	7,259人	7,110人	7,380人		
		歯科疾患実態調査	—	—	35人		
		市民健康づくり大会	7,259人	7,110人	7,380人		